



DATE: 平成30年 6月20日

国土交通省 天竜川上流河川事務所

砂防・地すべり現場見学会を開催します (大鹿小学校3、4年生)

開催概要

天竜川上流河川事務所では、「土砂災害防止月間」である毎年6月に、事業の周知と防災知識の普及を目的とした「砂防・地すべり現場見学会」を開催しております。

今回、大鹿村立大鹿小学校の申込みにより、次のとおり見学会を開催いたします。

日 時：平成30年 7月 3日（火）9：00～12：00

場 所：大鹿小学校（集合場所）、小渋川砂防出張所、近隣砂防工事現場等

参加者：大鹿村立大鹿小学校3年生、4年生 10名

※小雨決行ですが、天候等により行程が急遽変更となる場合がございます。

添付資料

見学会概要書（資料1）、昨年度行程表（資料2）、位置図（資料3）

取材について

1. 配布先

伊那記者クラブ、駒ヶ根市役所記者クラブ、飯田市役所記者クラブ

2. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

副所長 鈴木 豊

砂防調査課長 岡村 修 TEL:0265-81-6417 FAX:0265-81-6421

小渋川砂防出張所長 岡本 明 TEL:0265-39-2301

平成30年度 砂防・地すべり現場見学会 概要書 (大鹿小学校)

1. 概 要

近年各地で大規模な土砂災害が発生し、人々の生活に大きな被害を与えています。

ここ伊那谷もまた、国内有数の急流河川が点在し、かつ、脆弱な地質構造を持つことから、「三六災害」など多くの土砂災害が発生してきました。

天竜川上流河川事務所では、土砂災害による被害の防止のため、砂防設備の整備と同時に、地域防災力向上のための取組を行っています。

その一環として、土砂災害の危険性や伊那谷の地形、過去の災害を知り、実際の砂防設備を見て学ぶ機会として、地域の小学生を対象とした現場見学会を開催しております。

2. 実施内容

参加者：大鹿村立大鹿小学校 3年生、4年生

日 時：平成30年 7月 3日（火曜日） 9：00～12：00

場 所：①天竜川上流河川事務所 小渋川砂防出張所（下伊那郡大鹿村大河原 892）

②小学校近隣の工事現場及び砂防設備

（詳しくは、資料3 「砂防・地すべり現場見学会（大鹿小学校）位置図」をご参照ください。）

3. 留意事項

- ・現場見学会は大雨等により中止となる場合がございます。事前取材のご連絡をいただいた場合には、当日7時30分までに電話またはFAXにて中止のご連絡をいたします。
- ・工事現場では安全のためヘルメットの着用を義務づけております。ヘルメットは用意致しますので、ご着用をお願い致します。

お問い合わせ先




国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

小渋川砂防出張所 岡本 明

TEL：0265-39-2301

砂防調査課 岡村 修

TEL：0265-81-6417

着	発	場所	行動	目的	現地状況等
—	9:00	大鹿小学校	・出発		
9:05	9:30	砂防ステーション	・挨拶・事業説明:5分 ・ビデオ学習:10分 ・模型を使った説明:5分 ・トイレ等:5分	<ul style="list-style-type: none"> ・「砂防ってなーに？」を使用し、砂防事業の概略を理解してもらおう ・昭和36年の災害で、大鹿村がどのような被害を受けたかを学ぶ 	
9:40		塩川床固工群事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業・工事概要説明:15分 ・工事従事者の話:10分 ・現場体験(※1):60分 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事現場の見学を通じて、実際に何が行われているのかを知ってもらう ・工事従事者に仕事の魅力、やりがいについて話を聞く。 ・普段関わる機会のない「現場内で行われているコト、モノ」へ直に触れ、体感してもらう 【重機に乗ってみよう】 【測量をしてみよう】 【鉄筋と鉄筋を結んでみよう】 	 <p>塩川床固工群</p>
	11:30		<ul style="list-style-type: none"> ・説明:5分 ・ドローンによる塩川周辺の映像:10分 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンによる周辺の映像を見る。 ・最新の技術活用状況を知ってもらう。 	 <p>魚放流イメージ</p>
11:40	—		大鹿小学校	・到着	<ul style="list-style-type: none"> ・魚の放流を通じて自然の大切さを感じ取ってもらう

※1 現場体験について

【重機に乗ってみよう】

- ・土砂を掘る、均す、盛る、削るなど、非常に多くの場面で活躍する重機である「バックホウ」に搭乗して頂きます。
- ・見て、触れて、動かすことで重機のスケールを体感すると共に、用途に合わせて様々な機能を使い分けている事を知ることができます。
- ・搭乗写真が撮れる時間を可能な限り確保します。

【測量をしてみよう】

- ・現場では構造物の長さや高さをどのように測っているのか理解するため、実際に現場で使用している「光波計」という機器を使って距離と高さを計測します。
- ・測量結果の精度を確認できるよう、あらかじめ正解を用意しておき、結果と比較します。
- ・作業と役割を分担し協力することで連帯感や達成感を共有しつつ、標高の概念を感覚的に学ぶことができます。

【鉄筋と鉄筋を結んでみよう】

- ・今回の現場では、鉄筋コンクリート構造物を施工しており、加工した鉄筋を配置する作業をしています。
- ・鉄筋は等間隔に配置し、その鉄筋間隔がずれないように細かい針金で鉄筋と鉄筋を結びます。それを体験してもらい、作業の必要性を理解してもら

